

国際研究集会のご案内

東京大学史料編纂所では、所蔵する「倭寇図巻」について、中国国家博物館所蔵「抗倭図巻」等との比較研究を進め、国際研究集会も行なってきました。その成果はすでに図録（『描かれた倭寇』吉川弘文館、2014年）と論文集（『「倭寇図巻」「抗倭図巻」をよむ』勉誠出版、2016年）という形で公刊されています。今回は「倭寇図巻」をより広い視点から位置づけていくための第一歩として、台湾から馬雅貞氏を招聘し、清朝における戦争画の展開とその文化史的位置づけを語っていただきます。ご関心をお持ちの方は是非ご参加ください。

倭寇と倭寇図像をめぐる国際研究集会 「東アジアの合戦図を考える—清朝編—」

日時：4月6日（木）16：00～18：00

会場：東京大学史料編纂所大会議室（福武ホール地下1階）

〈趣旨説明〉板倉聖哲（東京大学東洋文化研究所）

〈報告〉馬雅貞（清華大学歴史研究所）

「戦勲を絵に刻む

—清朝帝国における武功の文化的構造—

* 事前申込不要、参加費無料

共催：東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター旧倭寇画像プロジェクト（研究代表者：須田牧子）／科研費基盤研究（S）「マルチアーカイヴァル的手法による在外日本関係史料の調査と研究資源化の研究」（研究代表者：保谷 徹）